

第3回丹波市地域資源活用懇話会 議事録

1. 日時 令和4年8月24日(水) 9時00分～11時30分

2. 場所 春日住民センター大会議室

3. 出席者

○懇親会委員 (11名)

1号委員 関 美絵子

2号委員 藤井 和枝 竹内 真子 鴻谷 佳彦

3号委員 荻野 祐一

4号委員 田辺 真人 松原 慶明 大木 玲子

5号委員 濱田 亮光 植地 惇

6号委員 宇瀧 広子

○事務局 (7名)

4. 協議事項

(1) 各委員からの意見について【資料12-1、12-2】

(2) WEBアンケート調査結果の報告について【資料13-1】

(3) 前回GAP調査と今回WEBアンケート調査との比較【資料13-2】

(4) 丹波ええとこナビでのアンケート調査結果の報告について【資料14】

5. 開会

事務局：定刻になりましたので、ただ今から第3回丹波市地域資源活用懇話会を始めさせていただきます。お手元の資料の確認をお願いします。

6. 会長あいさつ

～田辺会長挨拶～

7. 協議事項

田辺会長：それでは、次第に沿って協議を行ないます。

(1) 各委員からの意見について事務局から説明をお願いします。

～事務局(観光編)から資料12-1の説明～

田辺会長：本日は内容が多くかいつまんで説明すると聞いていたのですが、次第の5分の1の説明に45分かかっているのは委員の方の意見を聞く時間がありません。また、前回の会議後に委員の方が用紙に書いて出した具体的な意見に、市は検討する、すぐには実現できないという説明でした。市が委員の方からの意見を検討するのはあたりまえであり、文化財課に連絡するから実現が難しいというのは情けないと思います。文化財課が難しいのであれば、観光として努力をするのが市の意見ではないでしょうか。新商品開発につなげる、文化スポーツ課と連携するとは、どう連携するのですか。検討しますとは何に関して検討するのですか。委員の方が出した意見に対して具

体的な説明をして頂きたいと思います。これを踏まえて次の資料の説明をお願いします。

～事務局(商工編)から資料 12-2 の説明～

田辺会長：市の説明に質問やご意見ございませんか。

委員：事前に送られてきた資料が多く、パソコンから見づらく印刷をしたのだがアンケートが白黒だと違いが分かりにくく、カラーの方が分かりやすい。立派な機械があるはずなので、よろしくをお願いします。また小さな地区でも、山城まで標識がなく 5 回ほど迷い二度と来ないと言われれば住民が道を整備したり、標識を作った入りしている。魅力があれば、好きな人は遠方からでも来る。交通手段は電車やバスの方もおられる。私自身も地域再発見というグループに所属。各町を巡っている。休みの時期には友人が丹波市へ。観光施設へ案内。休みの時期も重なっていたため大勢の方が来られていた。送りの車中で話していたのはご飯を食べる場所が少ない。その他、イベントごとの際は臨時のバスの運行など考えてもらえると観光客にとっては助かる。働きかけてもらいたいという思いがある。

田辺会長：ご意見は発信の仕方についてのご指摘ですね。資料を一目瞭然に見やすくすることが大切です。それと観光課の担当者が、売り出そうとする観光地に足を運んで欲しいということです。ジャパンレールパスについて委員の方から意見が出ています。観光課ではこのチケットをご存じですか。観光課で内容や金額を実際に確認してから資料に書いて欲しいです。ジャパンレールパスは一定の期間を設けて新幹線等(のぞみを除く)が乗れるチケットです。外国の方にとっては、東京を往復するより安価で、どんな交通機関も使えるので、丹波市にも来やすくなります。レンタサイクルの利用も活性化されるはずです。こうした各委員の方の意見は具体的で、また、事務局の説明には具体性に欠けるという委員の方からの意見が多くありました。本気で足を運んで頂きたいと痛感しました。他にご意見はありますでしょうか。

委員：観光編の「観光資源」の捉え方に回答が出ているが、今、生きている人だけではなく故人も人材であり、丹波市は魅力的な人材を多く輩出しています。故人も観光資源として考えられ、それもまた人を活かした情報発信とご理解いただければ良いと思う。

田辺会長：6 番の委員の意見に対して、市の「人にスポットを当てた情報発信をしていく」という意見ですが、丹波に関わる、PR の出来る人を市民にアンケートを採るなどの調査をして、誰の情報を発信するのかを具体的に出して下さい。他にありますか。

委員：この会議自体が委員が発言し事務局は聞く、になっている。具体的な意見

を出した委員に事務局側から直接、詳細な話を聞きに行くことが大切です。私自身も分からないときは具体的にどうすればよいのか聞きに行くこともあります。この懇話会もそういう場にしていけることが大事だと思います。

田辺会長：他にご意見はございますか。

委員：商業施設などの大きな広場で生き物(動物)の展示があると、買い物に来たいろんな世代の地元の人が集まります。人は、面白いもの、興味が沸いたところにしか集まらないと思うので、観光にも面白いことをやって欲しいと思います。

田辺会長：各委員の方からよい意見をいろいろと頂いています。事務局には、出来ない事はできない、できる事は具体的にこのようにする、という対応を次回からお願いしたいと思います。

委員：私は行政を庇うわけではないが、いろいろな会議がありこういう形で進められる事が多い。この会議ではそれぞれの委員が意見を言われている。委員並びに事務局側の両方が努力されていると感じとることができる。このような会議には行政任せでない当事者意識を持ちながら会議を進め、参加していきたい。実現するようにとの思いは行政も持っていると思うので私は期待して、会議に臨んでいる。

田辺会長：事務局側も本当に出来ないというのでも言ってもらう必要があります。そのかわり具体的に忌憚なく意見をぶつけ合いたいと考えています。委員の方は、他意見ございますか。

委員：関係部署と連携して、協議して、という言葉の中では、どういう事に繋がるか分からない。施設を建てるといった事は難しいかと思うが、情報を収集するのは、それほどお金のかかる事ではなく、徹底するのが大切だと思う。委員の方からだけでも多くの情報を取得できる。どのように情報収集し、発信していくか。具体的な情報収集と発信の方法が分かれば良いのではないかと思う。

田辺会長：気が付いていないことも沢山あると思います。商工に関する具体的な意見はありませんでしたが、よろしいですか。もし、お気付きの事があれば事務局に伝えてもらうという事で進めます。

(2) WEBアンケート調査結果の報告について事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料 13-1 の説明～

田辺会長：ただ今の説明に質問、ご意見を頂きたいと思います。

委員：最近、訪問された時に行かれた場所の結果で、独鈷の滝が 8.6%となっているが、なぜこの結果とお考えですか。

事務局：5月から夏にかけて、観光課へ涼みたいので丹波市内に滝はあるか、と電話

で問い合わせがあり、案内した結果だと思われる。

田辺会長：お問い合わせに対して案内した場所には来られているという事ですね。他に
ご意見はございますか。

委 員：氷上町内で観光地の案内を考えると独鈷の滝しか思い浮かばない。

田辺会長：市の方で答えたところには人が来られるということですね。独鈷の滝以外で
答えている場所はありますか。

事 務 局：涼みたいと問い合わせであれば水を求めてということなので、春日だと日ヶ奥
の溪谷、川代溪谷など幾つかご案内しています。

田辺会長：今までに気づいていない場所があるはずですよ。それを発見していきましょう。
全部を回るのは難しいので、市民の方から推薦したい水辺、丹波の人などを
調査することも大事です。

委 員：市内の浄丸の滝も素晴らしいです。

田辺会長：事務局のみなさんは浄丸の滝に足を運んだことはありますか。

事 務 局：現地へは足を運んだことはありません。

田辺会長：是非、足を運んでください。良さが分かると思います。

委 員：商工会の女性部が地域再発見をやっているのだが、会員自身も知らないこと
も多い。各地域に責任者をおき、担当地域の良さを教えてもらっている。市
民でも知らない場所を教えてもらっている。そのような場所を知っているこ
とはお客様に伝えることができる。丹波市では帰ってこいとキャッチフレ
ーズがあるが、丹波市で生まれ、地元を離れ、もう一度帰ってこれるという
ことは地元を知ってもらうことが大切だと思う。事務局には足を運ぶように
と言っていますが、足を運ぶことが難しいのであれば、各地域の住民から教
えてもらうこともできるはずですよ。知っている人がたくさんいます。そうい
う方法もあると思います。

田辺会長：例えば地域再発見の集いなど商工会の女性部が市内のいろんな所に主催で呼
びかけて、丹波市全体を集め意見を言ってもらったらどうか。検討して頂き
たい。資料で疑問に思ったのは何時きたかという質問に対しては6年以上前
が多く、この5年間は帰ってきていませんね。ところが別のアンケートでは、
もう1度行きたいと答えた人が多かったのは矛盾していないでしょうか。ア
ンケートも客観的に見て、考えた方がいいですね。おばあちゃんの里に行っ
た人が半分近くということは、丹波市の観光客はおばあちゃんの里にしか行
っていないという事ではないでしょうか。

委 員：道の駅は青垣の道の駅も含んでですか。それともおばあちゃんの里の限定的
ですか。

田辺会長：例えば買い物や食事が多かったとありますが、おばあちゃんの里で食べてい

るという事になります。もっと市内各地に誘導して頂きたいです。

委員：出席の委員の方の中には観光情報センターに足を運ばれいろいろな話をしてもらっている。他の委員の方も足を運んでもらい見て、聞いてもらい意見を言ってほしいと思う。

委員：現状として、トイレ休憩、買い物(土産物の購入)に、おばあちゃんの里に来ている人が多いのは認識していて、その人たちをどのように市内に誘導するかを考えていくのが観光情報センターの仕事。市内周遊してもらう為にアンケートを取りながらクーポンを発行して、市内の飲食店、直売所など、次のところに繋いでいく。現在、考えているのが、道の駅青垣との連携。お蕎麦のお店が4店あり、クーポン発行し、それらをつないでいく。さらにお蕎麦以外のお店へもつないでいく。続けていくと滞在時間が長くなる。宿泊は難しいと思うので、そういう事をやっていきたいと思う。

田辺会長：仕事をしていて、アンケート結果と照らし合わせてどうですか。

委員：アンケートは、こちらの都合のいいデータを出す為にやると思う。神社仏閣に用事があり訪問する人も多く、帰りには絶対にうちに来るという人もいるのでアンケートで一喜一憂するより、もっと探せば隠れたスポットがあると思います。隠れたスポットは観光協会が知っていると思うので意見を出してもらってはどうか。

田辺会長：アンケート調査結果の数字を、どう読むか工夫をする必要があります。自分の都合の良い方にもっていかうとせず、なぜ、6年間来なかったのか、来た人はもういいと思います。来なかった人に来てもらう努力をしていきたいです。結果の報告について、他になれば(3)前回GAP調査と今回WEBアンケート調査との比較について説明をお願いします。

～事務局から資料13-2の説明～

田辺会長：ただ今の説明に質問、ご意見いかがでしょう。

委員：今回は前回よりも対象を近畿圏内に絞っていて、来訪したい、したくないの理由も距離が遠くて行きたくない、魅力的でないに該当するのかと考える。距離が近いと行きやすさがあり、そんなに魅力的ではないという回答を見る。もし次回も同じようなアンケートを取る場合、対象者を出来るだけ合わせた方がより考察しやすいと思う。

田辺会長：対象基準を共通なものにしないと比較が難しいですね。

委員：前回と今回だけを見て何が言えるか難しいと思う。宿泊者が増えたということで、2割が宿泊を伴う来訪なのが意外だった。前回、丹波市以外に宿泊した旅行の人数と足すと似たような数字なので、設問を取り違えて誤解のある回答があったのではと気になりました。目的の宿泊を伴う観光旅行の中で訪れたなどアンケートの作成者側と回答者側で意図の読み違いが発生していたのではな

いでしょうか。

田辺会長：アンケート結果の読み方ですね。アンケート調査の季節はいつでしたか。

事務局：前回は9月で、今回は8月です。回答数もほぼ同じです。

田辺会長：いろんな意味で比較する場合は基準を統一しないと難しい。他にご意見ご質問ありますか。

委員：今回は6番目のところのその他が圧倒的に増えていると思う。その他の部分でどんなものが増えているのか知りたいところです。

田辺会長：6番目のその他が前回と今回で4倍になっている。どんなところがその他に入っているか調査していますか。

事務局：内訳は仕事、親戚の家、観光地以外の栗拾い、ゴルフ場、陶芸、病院、保健所となり、かなり多い。前回のその他は詳細な資料が見当たらないため回答でき兼ねます。

田辺会長：同じような内容で聞かないと比較にならない。今回のその他は観光とは考えにくい面もあり、来訪と観光との違いがでたのだらうと思います。他にありますか。

委員：丹波市と言えば〇〇というのが分かりづらい。丹波市は大納言あずきを前面に出していく形をとるべきと以前から思っていて、丹波篠山市では黒豆をおして、黒豆課のようなものもある。丹波市も丹波市と言えば〇〇というのがでてくるような形をとり、そういう柱を作らないと認知度が上がらないと思う。丹波市と丹波篠山市の区別ができていない方も多。丹波市は大納言あずきの発祥地であることを柱に発信し、黒井城など観光につなげるためにも一丸となって進めていくべきでだと思。う。

田辺会長：他所にないものを見つける必要があります。自然、文化、歴史、物産、丹波市独自のものをもう一度、考えだして、特に「これ」といった物を強調して発信していく。観光調査で出ているが水分れ公園が増えている。日本にここしかない物を全面に打ち出していく必要があると思う。それでは(4)丹波ええとこナビでのアンケート調査結果の報告について説明をお願いします。

～事務局から資料14の説明～

田辺会長：委員のみなさま、何かご質問はありますか。10年ほど前に観光課のみなさんから黒井城を知ってもらいたいという意見をいただいた。ちょうど、竹田城の人气がでてきているときです。この10年の間に良いパンフレットを作成し認知度が上がったと思います。もみじは丹波というちらしを作ったこともありました。発信すれば、それなりに来てもらえます。水分れ公園は、ここ1～2年で発信が始まったばかりです。丹波市は神社関係(柏原の八幡神社など)があまり発信されていないと思います。兵主神社に関しては、播州から丹波にかけて多く分布、神社のネットワーク化して朱印のスタンプラリーをするな

ど、いろんな分野の方が集まっているので知恵を出し合い、お宝になる発見
されていないものを見つけて発信するのを続ける必要があると思います。

委員：不動の滝が映画のロケ地になっています。出演者のファンが聖地巡りを
して、PRに活用、立派な遺産になると思う。市内には滝をガイドする方も
いらっしゃいます。

田辺会長：丹波の滝巡りですね。いろいろなアイディアがあるので事務局にお伝え
ください。本日の懇話会を終了します。

7. 次回懇話会

事務局：次回の懇話会開催日ですが、10月6日（木）の午後3時から春日住
民センター大会議室で開催いたします。素案を事前に送付して議論に入ります
ので、よろしくをお願いします。

8. 閉会

田辺会長：それでは閉会いたします。次回もよろしくをお願いします。